

2019年度受賞者インタビュー

愛知淑徳大学では毎年、優れた学業成績を収めた学生や課外活動などで際立つ活躍をした個人・団体に賞を贈り、一人ひとりの努力を称えています。2019年度は、例年3月に開催している表彰式を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期とし、2020年7月20日に規模を縮小して執り行われました。

「2019年度学長表彰」に選出されたのは、個人2人と団体1組です。それぞれに学業・研究への熱意や今後の抱負などを語っていただきました。



特に優れた学業成績をあげた者(個人)

日商簿記検定試験 1級・令和元年公認会計士試験に合格

ビジネス学部4年(受賞時は3年) 松波 勇登さん

ビジネスの現場で活かせる経済学や経営学などを幅広く学び、最も興味を持ったのが会計学・簿記でした。公認会計士である西崎賢治先生のゼミに所属して学修を深め、会計教育センターの日商簿記検定対策講座も受講。1・2年次に日商簿記検定2級・1級を取得し、大学在学中での取得難易度が高いといわれる公認会計士試験にも挑みました。2年次から本格的に勉強を始め、西崎先生に質問しながら疑問点を徹底的になくしたところ、2年次のうちに公認会計士試験短答式試験に合格。さらに努力を積み重ね、3年次に論文式試験も突破し、公認会計士への第一歩を踏み出しました。監査法人に就職内定が決まった現在、国際的に活躍できるよう語学学習に励んでいます。何事も失敗を恐れずに挑戦し続けると、道が拓かれると信じています。



特に優れた研究成果をあげた者(個人)

AC ジャパン主催「第15回 AC ジャパン広告学生賞」新聞広告部門 審査員特別賞を受賞

創造表現学部 創造表現学科 メディアプロデュース専攻4年(受賞時は3年) 河出 雄浩さん

高校時代から映像などのメディアへの関心が高く、大学では映像制作やメディア表現などを専門的に学んできました。2年次からは阿部卓也先生のゼミに所属し、グラフィックデザインを学修。新たなチャレンジとして「ACジャパン広告学生賞」を視野に入れて制作活動に力を注ぎました。作品の企画テーマは「公共問題」。私は「20代の自殺」に着目し、大切な命を救うきっかけとなる広告をめざして、人の心に届く言葉や写真を突き詰めました。結果、応募総数約450作品の中からファイナリスト28作品に選ばれ、さらにその中でも高評価をいただき、大きな達成感を手にすることができました。今後も「どんな思いを、どんな言葉やビジュアルでカタチにすれば、人に伝わるのか」という問いを常に持ち、伝える力を磨いていきます。



特に優れた研究成果をあげた者(団体)

日経 BP マーケティング主催「第10回西日本インカレ」最優秀賞を受賞

ビジネス学部 傳行聡ゼミ
ビジネス学部 ビジネス学科4年(受賞時は3年) 平岡 大樹さん、平田 未来さん、水谷 朱里さん、水野 佑紀さん

私たち傳行聡ゼミは、企業のマーケティングや流通などに関する学修・研究に励んでいます。3年次には学びの成果を発揮し、西日本エリア23大学・128チームが参加する研究発表会「西日本インカレ」に出場しました。研究テーマは「マイクロビーズ抑制に関する制度の提案」です。美容製品や化粧品に使われる5mm以下の固形プラスチック粒子「マイクロビーズ」の環境問題に焦点をあて、企業・研究機関へのヒアリング、アンケート調査、環境負荷低減に向けた税制度の考案などに力を入れました。その研究結果を発表した西日本インカレでは、着眼点や斬新な発想などを高く評価していただき、最優秀賞に輝くことができました。チームで成し遂げたこの経験を活かし、社会人になってからも多様な人との協働を大切に課題解決に挑みます。

